



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年1月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社  
コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,925	1.0	487	10.9	485	38.6	356	28.1
2023年3月期第3四半期	9,013	7.7	546	44.5	350	1.8	278	28.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	16.33	
2023年3月期第3四半期	12.75	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2024年3月期第3四半期	22,220		11,834		53.3	
2023年3月期	22,118		11,478		51.9	

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,834百万円 2023年3月期 11,478百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		7.00	7.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	5.1	840	6.4	810	22.7	600	7.8	27.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	21,974,000 株	2023年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	150,605 株	2023年3月期	149,964 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	21,823,707 株	2023年3月期3Q	21,824,554 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済活動が正常化し、インバウンド需要に回復の動きが見られたものの、円安、資源・原材料価格の高止まり、世界情勢の緊迫化、各国のインフレ抑制生産、中国景気の減速等、依然として先行きは不透明であり、事業を取り巻く環境は厳しい状況にあると考えています。

化学工業におきましても、石油化学製品、半導体関連、EV電池等、化学工業をけん引してきた製品群の市況が低迷している中、原燃料が依然として高い水準にあるため、収益への影響が避けられない状況にあるなど、引き続き厳しい経営環境が続いていると認識しております。

こうした状況下、当社は外部環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、当期を起点とする3か年の中期経営計画を策定し、定めた経営目標を達成するために重要課題を克服・解決することで、持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績状況といたしましては、化成品関係の製品の売上げが好調に推移したものの、半導体市況低迷の影響で半導体関連材料の売上が減少したため、売上高は前年同四半期比1.0%減の8,925百万円となりました。また、昨年9月8日に弊社常磐工場（福島県いわき市）を襲った台風13号の影響で稼働損失を計上したことなどから、営業利益は前年同四半期比10.9%減の487百万円にとどまりましたが、昨年度計上した米国アンチ・ダンピング関税費用がなくなったことから、経常利益は前年同四半期比38.6%増の485百万円、四半期純利益は前年同四半期比28.1%増の356百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2023年3月期第3四半期累計期間				2024年3月期第3四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	885	2,786	3,671	40.7	900	2,176	3,076	34.5
化成品関係	2,250	457	2,707	30.1	1,921	1,237	3,159	35.4
医薬品関係	2,211	422	2,634	29.2	1,893	795	2,689	30.1
合計	5,347	3,666	9,013	100.0	4,716	4,209	8,925	100.0
構成比(%)	59.3	40.7	100.0		52.8	47.2	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(アミノ酸関係)

食品用途の輸出販売が好調であったものの、半導体関連用途の販売が減少したことから、売上高は3,076百万円と、前年同四半期に比べ595百万円(16.2%)の減収となりました。

(化成品関係)

高分子材料、機能性ポリマー原料、特殊触媒などの輸出販売が増加したことにより、売上高は3,159百万円と、前年同四半期に比べ451百万円(16.7%)の増収となりました。

(医薬品関係)

一部の国内向け原薬及び原薬中間体の販売が減少したものの、輸出販売は順調であったことから、売上高は2,689百万円と、前年同四半期に比べ54百万円(2.1%)の増収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 財政状態に関する分析

当第3四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から1百万円減少し、11,020百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、製品の増加と、現金及び預金、その他の減少によるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から103百万円増加し、11,199百万円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加と、機械及び装置の減少によるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から373百万円減少し、7,429百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加と、支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金、賞与引当金の減少によるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から120百万円増加し、2,956百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から355百万円増加し、11,834百万円となりました。これは主に、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

## (3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、現時点において、2023年5月15日に発表した業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,143	760
受取手形及び売掛金	2,999	3,399
製品	4,456	4,919
仕掛品	128	145
原材料	1,766	1,704
その他	527	90
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,021	11,020
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,168	2,149
機械及び装置（純額）	2,239	2,076
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	98	365
その他（純額）	1,203	1,124
有形固定資産合計	8,821	8,826
無形固定資産	274	219
投資その他の資産		
投資有価証券	1,611	1,849
その他	389	303
投資その他の資産合計	2,000	2,153
固定資産合計	11,096	11,199
資産合計	22,118	22,220
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,088	1,604
電子記録債務	345	383
短期借入金	3,720	4,040
1年内返済予定の長期借入金	519	419
未払法人税等	104	27
賞与引当金	235	73
設備関係電子記録債務	61	75
その他	730	804
流動負債合計	7,803	7,429
固定負債		
長期借入金	825	1,016
再評価に係る繰延税金負債	600	600
退職給付引当金	1,073	1,092
資産除去債務	14	14
その他	322	232
固定負債合計	2,836	2,956
負債合計	10,639	10,385

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	4,103	4,307
自己株式	△48	△48
株主資本合計	10,776	10,980
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	533	685
土地再評価差額金	168	168
評価・換算差額等合計	702	854
純資産合計	11,478	11,834
負債純資産合計	22,118	22,220

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	9,013	8,925
売上原価	6,801	6,806
売上総利益	2,212	2,118
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	372	348
賞与引当金繰入額	22	15
研究開発費	472	495
その他	797	771
販売費及び一般管理費合計	1,665	1,631
営業利益	546	487
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	39	41
為替差益	22	—
雑収入	12	14
営業外収益合計	75	56
営業外費用		
支払利息	32	36
支払手数料	13	15
関税費用	222	—
雑損失	4	6
営業外費用合計	271	58
経常利益	350	485
特別損失		
固定資産除却損	43	65
特別損失合計	43	65
税引前四半期純利益	307	419
法人税等	28	63
四半期純利益	278	356



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。